

# 学生ら「力になりたい」

## あす決勝R ボランテニアで参加

### ブラインドサッカー日本選手権

視覚障害者を中心にプレーするブラインドサッカーの第18回アクサフレイフカップ日本選手権決勝ラウンドが22日、八王子市台町の東京フットボールセンター八王子富士森競技場で開かれる。東京パラリンピックで日本代表が初出場5位と活躍した競技のチーム日本一を決める大会に、ボランテニアで参加予定の市内の専門学校生らは「力になりたい」と張り切っている。【野倉恵】

選手権は日本ブラインドサッカー協会主催で21チームが参加。当日午前11時からアフィールド広島とコルジャ仙台が3位決定戦、午後

がインターネットでライブ配信する。

協会によると学生ボランテニアは、協会職員に卒業生がいる緑で日本工学院八王子専門学校の学生ら約15人が参加。受付や試合中のボールパーソン、サイドフェンスの消毒や撤去などを手がける。5人制の競技は転がると音の出るボールを使い、両サイドにフェンスを設けてボールのライン超えを防ぎ、選手がピッチや自身の位置を把握しやすく

している。高さ1尺、幅40センチのフェンスは試合ごとに設置解体し、プレー中の接触も多くなめな消毒が必要。ボランテニアの力は大きい」（同協会）という。

参加予定の同校スポーツ健康学科1年、本宮悠史さん(19)は「見えていても難しいようなブラインドサッカーのすごいプレーに選手の努力を感じる。開会に接する機会になれば」と話す。TBSラジオも決勝戦冒頭から30分間、実況を予定。優勝チームに市長賞として八王子織物の絹のネクタイがストールが贈られる。